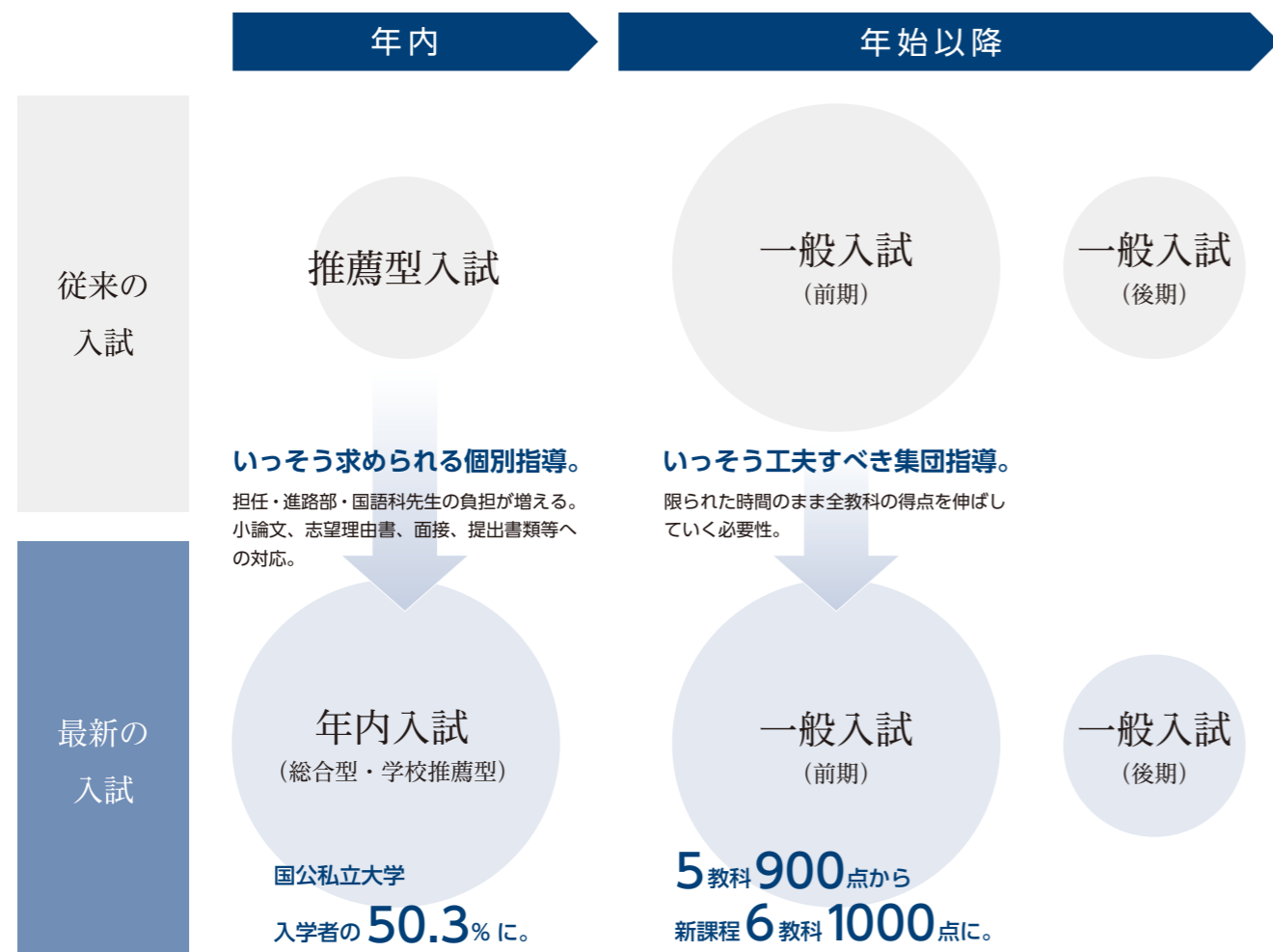


# EMPOWERMENT 2024

一人ひとりの  
学びたいがあふれだす未来を  
学校とともに作りだす

# 先生方からお伺いしている課題感。

生徒たちの未来をつくりだす学校に変化。



年内入試は総合型選抜(旧AO)と学校推薦型選抜の通称。  
年始以降の一般入試(筆記試験中心)に対して、実施・合否とも年内となる場合が多い。  
※2022年度入試より。文部科学省「国公立大学入学者選抜実施状況」をもとに作成。  
※値は「一般選抜、学校推薦型選抜および総合型選抜の入学者の合計」に対する各選抜の入学者の割合。

新課程入試へと2025年度入試より移行します。このタイミングで地歴公民科目の再編成や「情報Ⅰ」追加が行われ、標準が「5教科900点」から「6教科1000点」に変わります。

## 2024年・春 新課程一期生が高3生に。

# 先生方からお伺いした“問われる力”。

生徒たちの未来をつくりだす先生の役割。

先生が持っているものを **教える 伝える**

生徒が持っているものを **引き出す**

中央教育審議会でも、生徒の可能性を引き出す個別最適な学び(個々の生徒の特性やペースに合わせたカスタマイズ)と協働的な学び(「個別最適」が「孤立」にならないように他者と対話しながら進める探究学習や体験活動など)の実現が謳われました。

先生が持っているものを **教える 伝える**

生徒が持っているものを **引き出す**

**先生とデジタルが引き出す。**  
国による学校1人1台端末施策、そしてコロナ禍は環境を大きく変化させました。パソコン・タブレットなどの使用が日常化しており、生徒の力を引き出すツールとして有力なものとなりました。デジタル技術を中心としたICT(情報通信技術)への期待はますます高まっています。

## EMPOWERMENT

特に平成・令和以降の教育・生活環境の変化は、年内入試の拡大と高校新課程導入(2022年度以降)により加速の一途をたどっています。既存の校内分掌や指導経験では対処できないほどに、指導の幅が学校現場で求められるようになりました。ベネッセコーポレーションとしても、新課程一期生である2022年度高1生を含む昨今の生徒の指導に直面した先生方から多くのお声をいただきました。中でも印象的かつ複数の先生から異口同音にお聞きしたのは「入試多様化によって情報を『教える・伝える』ことに苦慮するという予想に反し、実際は生徒の希望進路や自主性を『引き出す』ことが大変になっている」ということ。生徒たちの未来をつくりだすという先生の「思い」は不変でありつつも、「役割」が問われていると教えていただきました。私たちは「一人ひとりの学びたいがあふれだす未来を学校とともに作りだす」を僭越ながら掲げておりますが、いっそう具体化してきた課題感を念頭にご支援を進めてまいります。



ベネッセの  
学校担当者が  
ご提案します。



北海道



東北



関東



首都圏



名古屋



北陸



大阪




中四国



九州



**生徒 BEFORE**




新課程・新入試の量的変化に対して、受動的に学習する姿勢から

学校現場でよく聞くお声

- 過去問のない新課程入試に伴い、高い目標を目指そうとしない。
- 次世代リーダーの基礎力にもつながる探究の取り組みだが、通り一遍のもので終わっている。
- 限られた時間でどのような対策を優先順位高く進めていけばいいかがわからない。
- 英語力を武器にして進路実現する生徒を力強く後押ししたい。

EMPOWERMENT

**生徒 AFTER**



強み・弱みの把握に基づき、主体的に計画を立て、実行できる姿勢に。

指導の重点は  
学力のみならず粘り強さまでの態度を育む。

指導の重点は  
声かけの継続で生徒の背中を押し続ける。

探究学習を通じて自主性と問題解決力を身につけつつ、強い志望動機を育みます。



志望動機の確立、大学での専門分野の学びを見通すと、探究学習や思考力育成は必要不可欠です。

探究ナビ

GPS-Academic

高い目標を達成するための戦略に気づかせます。




学ぶ内容とともに入試形式や配点を自身で把握するところから合格への道筋が立ちます。

マナビジョン


FINE SYSTEM / Compass

2024年度は3学年ALL新課程生に。新課程入試でも自信を持って解答できるように力を高めます。

新課程入試への不安は誰もが持っているものですが、進研模試への取り組みがそれを緩和します。要求学力の広がりに対応した問題に接し、やりっぱなしにせず自身の答案を検証すること。これが高い目標の継続につながります。



進研模試/ベネッセ総合学力テスト



スタディーサポート

基本事項の習得と同時に、「主体的に学習に取り組む態度」を獲得します。

スタディーサポートの学習状況リサーチでは、学習習慣・学習方法・粘り強さ・自己調整の4つの要素で生徒の自己認識状況を測ります。

世界基準での英語力測定で生徒の挑戦を後押しします。

世界基準のCEFRでC1レベルまで測定が可能です。国内の大学から海外の大学まであらゆる進路実現の可能性を引き出します。

CEFR	スコア	該当問題タイプ
C1	1350 ~ 1400	Advanced
B2	1180 ~ 1349	Advanced
B1	930 ~ 1179	Advanced
A2	680 ~ 929	Basic
A1	260 ~ 679	Basic
Pre-A1	0 ~ 259	Basic

※[GTEC]オフィシャルスコアが739の大学・短期大学に採用されています(2023年度国内外)。オフィシャルスコアは「検定版」[CBTタイプ]のみの発行となります。

[GTEC]

デジタルで生徒の未定着単元を解消します。

得意な単元について  
難しい問題をおすすめ

解答状況に応じて  
苦手な単元について  
易しめ問題をおすすめ

Classiでは配信された課題に解答すると、解答結果に応じてAI(一部教科・分野は除く)が最適な「おすすめ演習」を出題します。

Classi

「情報I」の学びをサポートします。

「情報I」の定着はデジタル教材「Pスタディ」により進めることが可能です。

Pスタディ

不足技能については技能別英語アプリでトレーニングを促します。

英語4技能育成に対応したトレーニングで不足技能の補完を行うことができます。

英語4技能目標スコア別トレーニング



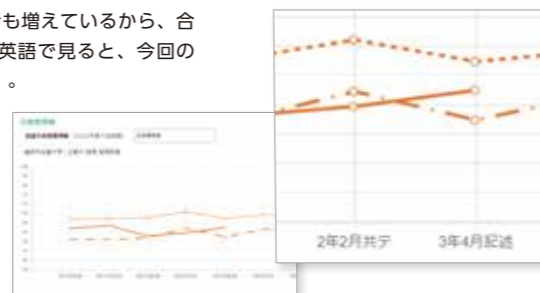
一般入試

英語入試

より生徒に近いリアルなデータで励ます。  
あきらめさせない「合格者下限」表示。

面談「E判定だけど、今は私大の合格者も増えているから、合格が出る幅も大きいんだ。一番大事な英語で見ると、今回の模試では合格者の下限を超えているよ」。

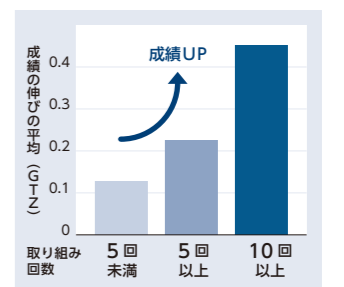
面談時にご参照いただける「Compass」合格者情報には合格者下限の表示があります。ここでの「下限」は合格者下位10%を指します。判定だけではわからない情報で、より生徒に近いリアルな先輩データをもとに「あきらめるべきではない」という感覚を持つことができます。



「定着につなげる」までを重視したトレーニングを。  
解答状況により出し分けられる単元×難易度別の問題。

ご採用校にてご利用いただける「Classi」の学習トレーニング機能では、AI等による弱点判定によって出し分けられる単元×難易度別の問題で、より細やかな単元定着を実現します。一部教科・分野はAI対応外となります。

※グラフは2022年度スタディサポート第1回と7月のベネッセ総合学力テストの結果を用いた「Classiチャレンジ」の検証より(生徒506人参加)。  
※GTZ(学習到達ゾーン)とは、進研模試の全国偏差値との高い相関から算出した学力指標です。グラフの成績の伸びの単位はGTZの1つ上昇(例「B2→B1」)を1としています。



※[GTEC]は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

**生徒 BEFORE**

年内入試志望者が増加している状況下で、安易に志望を下げしてしまう姿勢から

学校現場でよく聞くお声

- 志望校へのこだわりが弱く、先生・保護者の認める大学へという志向が強い。
- 探究の時間の推進に苦慮している。運営負担が一部の先生に偏っている。

**生徒 AFTER**

希望する進路実現のために学びに向かう姿勢に。

EMPOWERMENT

指導の重点は  
「自分軸」が貫かれた志望動機づくり。

指導の重点は  
一般・年内に応じた個別最適へと導く。

**自分らしさが活かされる学問・文理適性やマッチする進路先などが見つかります。**

診断に取り組むことで進路の視野が広がります。スタディーサポートWEB解答形式(進路・学習同日版)内での利用ができます。

自分のこだわり  
志望校とのつながり  
比較検討  
おすすめ  
上級学校

**進路達成プログラム**

探究学習を通じて、志望理由の軸となるマイストーリーを構築します。

年内入試・一般入試問わず、原動力となるのがマイストーリーと志望理由です。探究学習をとっかかりとして構築していきます。

**探究ナビ / 探究ナビBasic**

**マナビジョン**

**FINE SYSTEM / Compass**

**こだわりを持って記載した志望を胸に、要求学力までどれだけ到達できているかを測ります。**

新課程入試への不安は誰もが持っているものですが、進研模試への取り組みがそれを緩和します。要求学力の広がりに対応した問題に接し、やりっぱなしにせず自身の答案を検証すること。これが高い目標の継続につながります。

**即時返却で直後の進路・学習両面でのアクションをサポートします。**

基本事項を習得しながら、即時返却された進路・学習両面での結果をもとに次の行動へと踏み出すことができます。

**英語力による勝負が可能な入試への挑戦を後押しします。**

世界基準のCEFRでC1レベルまで測定が可能です。国内の大学から海外の大学まであらゆる進路実現の可能性を引き出します。

※[GTEC]オフィシャルスコアが739の大学・短期大学に採用されています(2023年度国内外)。オフィシャルスコアは「検定版」[CBTタイプ]のみの発行となります。

**デジタルで学びをサポート。**

得意な単元について  
難しい問題をおすすめ  
苦手な単元について  
易しめ問題をおすすめ

Classiでは配信された課題に解答すると、解答結果に応じてAI(一部教科・分野は除く)が最適な「おすすめ演習」を出題します。

**Classi**

「情報I」の定着はデジタル教材「Pスタディ」により進めることが可能です。

**Pスタディ**

**知識動画と添削で小論文・志望理由書を仕上げます。**

知識(ネタ動画)は課題別に。書き方(構想と本番)は個別に。多様化する年内入試での小論文・志望理由書指導をスムーズにします。

**小論文・志望理由書ナビ**

**技能別英語アプリでトレーニングします。**

**英語4技能目標スコア別トレーニング**

**一般入試**

**年内入試 (総合型・学校推薦型)**

**英語入試**

受け身な生徒に目標を持たせるために。

**得点・基礎力・英語力を指標化。**

実施回や過年度を問わず得点管理されているベネッセのアセスメントは、各校での確かな指標として指導にご利用いただくことができます。また英語テスト「GTEC」には読解スピードを意識した問題編成があります。

共通テスト目標点	700点	500点
進研模試共通テスト形式2年生2月回	7割	5割
スタディーサポート3年生第1回	GTZ A1	GTZ B2
英語読解スピード	毎分125語	毎分100語

※GTZ(学習到達ゾーン)とは、進研模試の全国偏差値との高い相関から算出した学力指標です。

年内入試の特徴をつかみ、一般入試とも比較検討を。

**年内入試情報の早わかり「類型タグ」表示。**

2024年3月からの「Compass」には年内入試における募集単位ごとに「類型タグ」を表示します。まず端的に「どのような形式の年内入試なのか」の概況をつかんで進路指導を行うことが可能になり、生徒にとっての納得度の高い指導と若手先生にとっての面談準備時間の削減を両立します。

**教科学力** さらに、面接の配点が最も高い募集単位に関しては下記タグをつけています。

**面接**

**論述** **自己PR/書類**

**実技** **探究/課外**



**生徒 BEFORE**

拡大した年内入試に対して安易な進路選択を行う姿勢から

学校現場でよく聞くお声

- 進路選びについて生徒の「こだわり」が薄い。大学選択は「行きたい」より「入れる」。指定校や総合型での選択となる。
- 探究の時間の推進に苦慮している。運営負担が一部の先生に偏っている。

**生徒 AFTER**

自分が活かせる志望先を探索・研究し、こだわりを持った進路選択ができる状態に。

EMPOWERMENT

指導の重点は  
「こだわり」を持った選択を促す進路支援。

指導の重点は  
学習環境担保で生徒の「わからない」を解消。

自分らしさが活かされる学問・文理適性やマッチする進路先などが見つかります。

診断に取り組むことで進路の視野が広がります。スタディーサポートWEB解答形式(進路・学習同日版)内での利用ができます。

**進路達成プログラム**

探究学習を通じて、志望理由の軸となるマイストーリーを構築します。

年内入試・一般入試問わず、原動力となるのがマイストーリーと志望理由です。探究学習をとっかかりとして構築していきます。

**探究ナビBasic**

**マナビジョン**

**FINE SYSTEM / Compass**

自分に合った学習スタイルを発見することで、主体的な学習に向かえます。

「学力(知識・技能の定着および活用)」と「学習(行動と態度)」の2つの観点から測定するアセスメントです。事後には学力と学習の結果から生徒個別の最適なオンデマンドワーク&ドリルをご提供します。

**1日の時間割イメージ**

1限	目標設定	①解答入力システムログイン ②希望進路登録 ③進路適性検査(自分から診断またはエングージメント診断) ④目標宣言
2~4限	教科学力テスト受験	国語、数学、英語の受験 ※問題冊子は紙で配付
5限	解答提出、即時結果確認	①学習アンケート(学習状況リサーチ/学習力チェック) ②即時返却結果確認(進路適性検査、学力結果確認) ※復習優先問題で今すぐ復習すべきテスト問題がわかります。 ※「Compass」で生徒の受験結果や取り組み状況についてタイムリーに確認できます。

**進研模試/ベネッセ総合学力テスト**

**実力診断テスト**

デジタルで学びをサポート。

得意な単元について  
**難しい問題をおすすめ**

苦手な単元について  
**易しめ問題をおすすめ**

Classiでは配信された課題に解答すると、解答結果に応じてAI(一部教科・分野は除く)が最適な「おすすめ演習」を出題します。

**Classi**

「情報I」の定着はデジタル教材「Pスタディ」により進めることが可能です。

**Pスタディ**

知識動画と添削で小論文・志望理由書を仕上げます。

知識(ネタ動画)は課題別に。書き方(構想と本番)は個別に。多様化する年内入試での小論文・志望理由書指導をスムーズにします。

**小論文・志望理由書ナビ**

英語力による勝負が可能な入試に挑戦させます。

**[GTCC]**

一般入試

年内入試  
(総合型・学校推薦型)

英語入試

生徒の進路意識を驚くほど前向きにする

WEB解答形式(進路・学習同日版)ご実施校での声。

「教科学力試験と同日に進路適性検査を受験し、WEBで解答する」実施パターン(スタディーサポート、基礎力診断テスト)への学校の声をご紹介します。2024年度より全学年対象となります(2023年度は高2の一部タイプが対象)。

先生

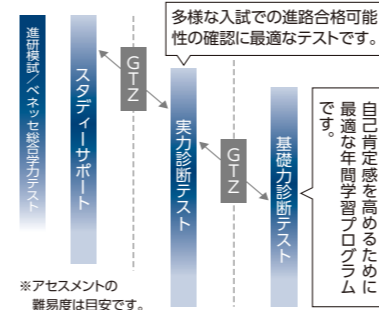
「WEBを通じての解答ということで、少し不安を感じていました。やってみると生徒はすぐに慣れていましたので、安心して見守ることができました」

生徒

「結果がすぐわかるから、覚えているうちに振り返りができてうれしい」  
「知らなかった強みに気づけてよかった」  
「有名な大学しか知らなかったけど、おすすめされた大学も調べてみたい」

各種ベネッセテストとGTZ(学習到達ゾーン)対応表

共通指標の「GTZ」で学力推移を把握できます。



学習到達ゾーン(GTZ)	学力の目安	GTZ	進学の目安	就職・公務員試験の目安
S	複雑な情報を読み取る力が身についており、知識と情報を活用して発展的な問題を解くことができる。	C1+	4年制大学 学校推薦型選抜 合格がめざせる	一般的な入社試験の ペーパーテストでの 合格がめざせる
A・B	文章を細部まで正確に読みとる力が身についており、与えられた情報をうまく活用して応用的な問題にも取り組むことができる。	C1- C2+ C2- C3+ C3- D1+		
C	教科学習をするうえで、必要な基本知識が身についており、その知識を活用して基本的な問題を解くことができる。	D1- D2+		
D1・D2	日常生活に必要な語彙力や、基本的な計算力を身につけている。	D2- D3+		
D3	義務教育範囲の学習内容が身につけていない。	D3- D3+	希望に沿った進学が できない可能性が高い	就職後仕事についていけない 可能性が高い

※[GTCC]は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

Case 4 大学・専門学校・就職など  
生徒が幅広く希望する学校のケース

**生徒 BEFORE**

これまでの経験によって自己肯定感が低い状態から

**学校現場でよく聞くお声**

- 生徒自身で進路決定、進路実現できるようになってほしい。高2・3学期に進路決定させたい。
- 生徒の基礎学力と自己肯定感を高めたい。「やればできる」を実感させたい。
- 探究の時間の推進に苦慮している。運営負担が一部の先生に偏っている。

**生徒 AFTER**

自分自身の可能性に気づき、進路・学習に前向きになれる状態に。

**EMPOWERMENT**

指導の重点は  
前向きな声かけで生徒の自己肯定感を高め続ける。

指導の重点は  
義務教育範囲の学び直しから進路対応力育成まで。

テストに4~6割準拠した事前教材で成功体験の準備をします。

テストと連動したデジタルと紙のハイブリッド事前・事後教材に取り組むことができます。

**One-Weekトライアル (基礎力診断テスト)**

自分らしさや長所が活かされる進路とのエンゲージメントに取り組みます。

診断に取り組むことで進路の視野が広がります。基礎力診断テストWEB解答形式(進路・学習同日版)内での利用ができます。

進路達成プログラム

探究ナビBasic

マナビジョン

FINE SYSTEM / Compass

事前教材と連動したテストで「やったら、できた」を実感できます。

「教科問題」と「学習力チェック」により構成されるアセスメントです。生徒の変化や成長を「認める」「褒める」機会をつくり学習へ前向きにします。

1日の時間割イメージ

1限	目標設定	①解答入力システムログイン ②希望進路登録 ③進路適性検査(自分らしさ診断またはエンゲージメント診断) ④目標宣言
2~4限	教科学力テスト受験	国語、数学、英語の受験 ※問題冊子は紙で配付
5限	解答提出、即時結果確認	①学習アンケート(学習状況リサーチ/学習力チェック) ②即時返却結果確認(進路適性検査、学力結果確認) ※復習優先問題で今すぐ復習すべきテスト問題がわかります。 ※「Compass」で生徒の受験結果や取り組み状況についてタイムリーに確認できます。

**基礎力診断テストWEB解答形式 (進路・学習同日版)**

テストが終わった直後だからこそ、進路・学習両面での結果を意識して次に向けて動き出すことができます。

知識動画と添削で小論文・志望理由書を仕上げます。

知識(ネタ動画)は課題別に。書き方(構想と本番)は個別に。多様化する年内入試での小論文・志望理由書指導をスムーズにします。

**小論文・志望理由書ナビ**

デジタルで単元定着と学び直しに取り組みます。

「Classi」では、目標と基礎力診断テスト結果のギャップを確認しながら、自分の成績に合わせて取り組むことができます。

**Classi**

生徒の学力や意識・行動から新しい進路可能性を発見します。

「教科問題」と「学習・進路チェック」により構成されるアセスメントです。学力・希望に応じた進路先の提示があります。

**実力診断テスト**

社会で通用する英語コミュニケーション力を。

**[GTCE]**



デジタル支援で学びの手を止めさせない。

基礎力診断テストでは、手が止まる・取り組めないという生徒には、デジタルを活用して「やったら、できた」をいつでも体験できるようにします。

素材文の読解で手が止まる生徒には、素材文を理解するための動画コンテンツ。

難しい問題をあきらめてしまう生徒には、One-Week トライアルの問題に何度も取り組めるデジタルドリル。

もっとトライしたい生徒には、力試しのための類題も用意。

各種ベネッセテストと GTZ (学習到達ゾーン) 対応表

共通指標の「GTZ」で学力推移を把握できます。

多様な入試での進路合格可能性の確認に最適なテストです。

自己肯定感を高めるために最適な年間学習プログラムです。

学習到達ゾーン(GTZ)	学力の目安
S	複雑な情報を読み取る力が身についており、知識と情報を活用して発展的な問題を解くことができる。
A・B	文章を細部まで正確に読みとる力が身についており、与えられた情報をうまく活用して応用的な問題にも取り組むことができる。
C	教科学習をするうえで、必要な基本知識が身についており、その知識を活用して基本的な問題を解くことができる。
D1・D2	日常生活に必要な語彙力や、基本的な計算力を身につけている。
D3	義務教育範囲の学習内容が身につけていない。

GTZ	進学の目安	就職・公務員試験の目安
C1+	4年制大学 学校推薦型選抜 合格がめざせる	一般的な入社試験の ペーパーテストでの 合格がめざせる
C1-		
C2+		
C2-		
C3+		
C3-	短期大学・専門学校の 合格がめざせる	仕事に取り組むための 最低限の学力が身につけている
D1+		
D1-		
D2+	希望に沿った進学が できない可能性が高い	就職後仕事についていけない 可能性が高い
D2-		
D3+		
D3-		


※アセスメントの難易度は目安です。

※[GTCE]は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。



Case 5 希望進路実現のための  
土台を形成したい中高一貫校

**生徒 BEFORE**




中高一貫校の学習ペース・課外活動などに戸惑いがある状態から

**学校現場でよく聞くお声** 中1・中2

- 生徒が学習量や中高一貫のスピードに戸惑いがち。異なる小学校からの生徒に囲まれる環境における自己成長も求められる。
- 中学校のスタート時点で基礎をおろそかにせず、努力をすることが肝要。下位層となってしまうと中3以降に挽回が難しい場合がある。

**EMPOWERMENT**

**生徒 AFTER**

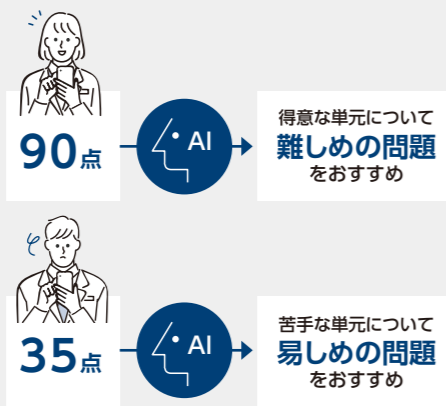


進路実現につながる志望動機と基礎学力の両方を身につけた高2生に。

指導の重点は **進度が進んだ中3以降の挽回は難しい/  
中1・中2生の成績二極化を阻止する。**

指導の重点は **中3・高1生の進路学習、探究を後押し。**

**レコメンドによる個別最適学習  
で未定着単元の放置を防ぎます。**




得意な単元について **難しめの問題** をおすすめ  
苦手な単元について **易しめの問題** をおすすめ

Classiでは配信された課題に解答すると、解答状況に応じてAI(一部教科・分野は除く)が最適な「おすすめ演習」を出題します。単元終了時や学力推移調査(中1第2回～中3第3回)の事前学習時に利用できます。


Classi

**中高一貫校の進度と難易で、  
高校学習の土台となる学力を  
測定します。**



大学入試で難関大以上への合格を目指すまでを視野に入れた出題により、学力としての「定着」状況を中心に確認します。(年3回)

学力推移調査



大学入試や実社会で求められる「考える力」を問い、探究的学びにもつながる出題です。学力推移調査だけではつかめない生徒の新たな強みに気づかせます。(年1回)

中学総合学力調査

全国でのご活用割合は約**7割**です。  
(中高一貫校での2022年度「学力推移調査」実績)

学びのプロセスを踏まえて、中3では「中学学習の総仕上げ」「学習の量から質への転換」の位置づけを含む実施となります。中学全範囲からの出題となる中3第3回までのご利用により、中高接続をより確実なものにしてまいります。(年3回)

学力推移調査

中3においては、抽象度が上がった「身近な日常生活の事象」を素材としながら思考を深める出題となります。(年1回)

中学総合学力調査

高2・高3  
進級

FINE SYSTEM / Compass

**「英語が使えた!」という成長実感、成功体験を  
6か年を通じて醸成していきます。**

世界基準での英語力測定で生徒の挑戦を後押しします。CEFRでC1レベルまで測定が可能です。国内の大学から海外の大学まであらゆる進路実現の可能性を引き出します。

[GTEC]

※[GTEC]は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

CEFR	スコア	該当問題タイプ
C1	1350 ~ 1400	*学年は活用目安時期 Core Basic Advanced CBT
B2	1180 ~ 1349	
B1	930 ~ 1179	
A2	680 ~ 929	
A1	260 ~ 679	
Pre-A1	0 ~ 259	

**学習意欲の維持につながる進路へのこだわりを、  
体系的な進路学習、探究活動により引き出します。**

**進路サポート 中高一貫 中3・高1用**



進路探究ノート  
体系的な進路学習をサポートするワークノート。

**探究ナビBasic**



ブック/実践ノート  
直接書き込んでいただける生徒用のテキスト兼ワークブックです。

もしもトリップ  
課題設定に役立つ観点を広げるカードゲームです。

※このほか保護者用ガイド、進路ムック、教師用ガイド(朱筆入りガイド、指導案)が含まれます。

※このほか教師用ブック、教師用実践ノートが含まれます。

学習到達ゾーン(GTZ)	ゾーンの位置づけ
S	S1 最難関大レベル
	S2 難関大レベル
	S3 難関大挑戦レベル
A	A1 難関大挑戦レベル
	A2 国公立・中堅私立大レベル
	A3 中堅私立大レベル
B	B1 国公立・中堅私立大挑戦レベル
	B2
	B3
C	C1 4年制大挑戦レベル
	C2
	C3
D	D1 基礎・基本育成レベル
	D2
	D3

進研模試の全国偏差値との高い相関から算出した「学習到達ゾーン(GTZ)」を学力指標としています。中高6か年の学力を同じ指標で測ることができます。貴校の学力育成目標の基準としてご活用ください。

※「進路サポート 中高一貫 中1・中2用(中高一貫校での学習法習得)」についてもご利用をご検討ください。